香	 訓高等専	 門学校	開講年度 令和05年度 (2	 2023年度)	授	 業科目	表現コミュニケーション II			
科目基础				/			<u> </u>			
科目番号	ACTION N	1127		科目区分		一般 / 必				
授業形態		授業		単位の種別と単位	位数	2				
開設学科			トワーク工学科(2019年度以降入学	対象学年		2				
開設期		通年		週時間数		2				
教科書/教	材	それぞれ	この担当教員が準備する教材を使用する	0	'					
担当教員		森 和憲,	森 あかね,河野 麻弥,冨士原 伸弘,田村	昌己,中澤 拓哉						
到達目標	<u> </u>	•		,						
人文系科	日(国語、草	英語、社会) く, 聞く, 詰	の内容言語統合型授業を行うことで、 括す)の全体的な向上と豊かな表現力の	歴史や異文化に対 育成を図る。	する教養	養の涵養と	、コミュニケーションに必要な4つ			
ルーブ!	ノック									
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レ	ベルの目	 ]安	未到達レベルの目安			
評価項目:	1聞く能力		論理立てた日本語や簡単な英語の 文章を聞き、その内容を把握でき る。	日本語や英語の調き、その内容を			日本語や英語のまとまった文章を 聞いても、その内容を把握できな い。			
評価項目2	2読む能力		目的に応じて、自主的に印刷物、 インターネットから適切な情報 (英語を含む)を収集できる。	教員の指示により、印刷物、インターネットから適切な情報(英語を含む)を収集できる。			教員から提供された印刷物、インターネットから適切な情報を収集 できない。			
評価項目	3書く能力		自分の考えを論理立てて日本語で書くことができる。また、簡単な英語の文章を書くことができる。	教員の補助があれば、自分の考え を論理立てて日本語で書くことが できる。また、簡単な英語の文章 を書くことができる。			自分の考えを論理立てて日本語で書くことができない。また、簡単 な英語の文章を書くことができない。			
評価項目4	4 話す能力		調べたことに関して、論理立てて 話すことができる。また、自分の 意見を簡単な英語で話すことがで きる。	調べたことに関して、日本語また は英語を用いて簡単に説明ができ る			調べたことに関して、日本語また は英語を用いて簡単に説明ができ ない			
学科の発	到達目標項	目との関		•			•			
教育方法										
注意点	め方・方法	ジタル」 ゼカ・ 1年本語 ゼンについ	語、社会の人文系科目の内容統合型授で再現することを最終目標に据え、自・ションすることにより、歴史や異文化等分して、以下の授業を行う。1)国環稿を作成する。効果的なプレゼンテー・ションスライドと原稿を英語で再度プハて学ぶ。3)社会:チームを組んで、	ら選んだ歴史的テ に対する教養を身 	ーマにて につけ、 で、歴史 の技法を する。 う	ついて調べ コミュニ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	、それを日本語と英語の両方でプレケーション能力の全体的な向上を目文化財について説明するスライドと文化財について説明するスライドと対策: 国語の授業で作成したプレ語のプレゼンテーションの方法の違			
授業の履	属性・履修	多上の区分	}							
☑ アクテ	ニィブラーニ	ング	☑ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	7		□ 実務経験のある教員による授業			
授業計画	 <b>a</b> i									
-~~\\\	Ī	週	授業内容		调ブレ	の到達目標				
		1週	ガイダンス, チームビルディング 計画立案と情報収集(グループワーク	")	学習内容及び到達目標を理解し、取り組む課題を設定できる。B1-3グループで議論しながら目標達成のための計画を立て、異文化に触れながら様々なレベルの情報を収集する(学習・調査等)ことができる。B1-3					
		2週	計画立案と情報収集(グループワーク	7)	グループで議論しながら目標達成のための計画を立て , 異文化に触れながら様々なレベルの情報を収集する (学習・調査等)ことができる. B1-3					
		3週	計画立案と情報収集(グループワーク	")	グループで議論しながら目標達成のための計画を立て , 異文化に触れながら様々なレベルの情報を収集する (学習・調査等)ことができる. B1-3					
	1stQ	4週	プレゼンテーション演習(プレゼンの レゼン資料の製作)	基礎を学ぶ・プ	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる.B1-3					
前期		5週	プレゼンテーション演習(プレゼンの レゼン資料の製作)	基礎を学ぶ・プ	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる.B1-3					
		6週	プレゼンテーション演習(発表練習)			グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる.B1-3				
		7週	発表会 1			グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる.B1-3				
		8週	発表会 2	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる.B1-3						
	3540	9週	発表会 3		グルー: を行い。 る. B1	、より精度	こして役割を担い、制作、分析、検証 ほの高い成果物を完成することができ			
	2ndQ	10週	発表会4		グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証 を行い、より精度の高い成果物を完成することができ る. B1-3					
	· ·	•								

		11週	計画立		指導、発音指導	グループの一員として役割を を行い、より精度の高い成果 る. B1-3	:担い、制作、 !物を完成する	分析、検証 ことができ		
		12週	英語	プレゼン制作技	指導、発音指導	グループの一員として役割を を行い、より精度の高い成果 る. B1-3				
		13週	制作,	分析, 検証	(グループワーク)	グループの一員として役割を を行い、より精度の高い成果 る. B1-3	担い、制作、 物を完成する	分析、検証 ことができ		
		14週	制作,	分析, 検証	(グループワーク)	グループの一員として役割を を行い、より精度の高い成果 る. B1-3	担い、制作、 物を完成する	分析、検証ことができ		
		15週	制作,	分析, 検証	(グループワーク)	グループの一員として役割を を行い、より精度の高い成果 る. B1-3				
		16週	成績研	確認		内容の理解度を確認する。				
		1週	制作,	分析, 検証	(グループワーク)	グループの一員として役割を を行い、より精度の高い成果 る. B1-3				
		2週	発表会	<b>슾</b> 1		グループの一員として役割を を行い、より精度の高い成果 る. B1-3	担い、制作、 物を完成する	分析、検証 ことができ		
		3週	発表会	<b>읖</b> 2		グループの一員として役割を を行い、より精度の高い成果 る. B1-3				
	3rdQ	4週	発表名	会 3		グループの一員として役割を を行い、より精度の高い成果 る. B1-3				
	SidQ	5週	発表会	会4		グループの一員として役割を を行い、より精度の高い成果 る. B1-3	物を完成する	ことができ		
				立案(社会) 分析,検証	(グループワーク)	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。B1-3				
		7週	制作,	分析, 検証	(グループワーク)	グループの一員として役割を を行い、より精度の高い成果 る. B1-3				
後期		8週	制作,	分析, 検証	(グループワーク)	グループの一員として役割を を行い、より精度の高い成果 る. B1-3	物を完成する	ことができ		
	4thQ	9週	制作,	分析,検証	(グループワーク)	グループの一員として役割を を行い、より精度の高い成果 る. B1-3	担い、制作、 物を完成する	分析、検証 ことができ 		
		10週	制作,	分析, 検証	(グループワーク)	グループの一員として役割を を行い、より精度の高い成果 る. B1-3	物を完成する	ことができ		
		11週	制作,	分析, 検証	(グループワーク)	グループの一員として役割を を行い、より精度の高い成果 る. B1-3	物を完成する	ことかでき		
		12週	制作,	分析, 検証	(グループワーク)	グループの一員として役割を を行い、より精度の高い成果 る. B1-3	物を完成する	ことができ		
		13週	制作,	分析,検証	(グループワーク)	グループの一員として役割を を行い、より精度の高い成果 る. B1-3	!物を完成する 	ことができ		
		14週	制作,	分析, 検証	(グループワーク)	グループの一員として役割を を行い、より精度の高い成果 る. B1-3	物を完成する	ことができ		
		15週		成果発表会		グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。B1-3				
		16週 	成績研			内容の理解度を確認する。				
	アカリ=		か字習 かんりょう かいこう かいこう かいこう かいこう かいかい かいかい かいかい かいか	内容と到達			T	I		
分類		分野		学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル			
					聞き手に伝わるよう、句・文におい ーション、音のつながりに配慮して 明瞭で聞き手に伝わるような発話か	<u>、音読あるいは発話できる。</u> ができるよう、英語の発音・ア	3	後2,後3,後 4,後5 後2,後3,後		
				英語運用の 基礎となる 知識	クセントの規則を習得して適切に通中学で既習の語彙の定着を図り、高新出語彙、及び専門教育に必要とな			4,後5 後2,後3,後 4,後5		
基礎的能力	   人文・ネ   科学	社会 英語			切な運用ができる。 中学で既習の文法や文構造に加え、 た文法や文構造を習得して適切に通		3	後2,後3,後 4,後5		
				古五海田北	日常生活や身近な話題に関して、年 りとした発音で話された内容から必 きる。		3	後2,後3,後 4,後5		
				め	日常生活や身近な話題に関して、自現を用いて英語で話すことができる説明や物語などの文章を毎分100語	5.	3	後2,後3,後 4,後5		
					武明や物語などの文章を母が100話  ように音読ができる。	11±1女い丞は (明ら十に1417)	3	後2,後3,後 4,後5		

	1			T		
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報 を読み取ることができる。	3	後2,後3,後 4,後5
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、 100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	後2,後3,後 4,後5
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場 面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	後2,後3,後 4,後5
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略 (ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	後2,後3,後 4,後5
				自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	後2,後3,後 4,後5
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	後2,後3,後 4,後5
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、 学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	後2,後3,後 4,後5
				毎国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外 で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	後2,後3,後 4,後5
			英語運用能 力向上のた	関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	後2,後3,後 4,後5
			めの学習	関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる 平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答など のやりとりができる。	3	後2,後3,後 4,後5
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	後2,後3,後 4,後5
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	後2,後3,後 4,後5
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略 (ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	後2,後3,後 4,後5
				日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	後2,後3,後 4,後5
	汎用的技能	D技能 汎用的技能		他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	後2,後3,後 4,後5
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	後2,後3,後 4,後5
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	後2,後3,後 4,後5
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	3	後2,後3,後 4,後5
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相 づち、繰り返し、ボディーランゲージなど)。	3	後2,後3,後 4,後5
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	3	前7,前8,前 9,前10
				合意形成のために会話を成立させることができる。	3	前7,前8,前 9,前10
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	3	前7,前8,前 9,前10
				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に 収集することができる。	3	前7,前8,前9,前10
分野横断的 能力				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	3	前7,前8,前9,前10
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	3	前7,前8,前9,前10
				情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について 自己責任が発生することを知っている。	3	前7,前8,前9,前10
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要で あることを知っている。	3	前7,前8,前 9,前10
				目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	3	前7,前8,前9,前10
				あるべき姿と現状との差異(課題)を認識するための情報収集ができる	3	前7,前8,前9,前10
				複数の情報を整理・構造化できる。	3	前7,前8,前9,前10
					3	前7,前8,前 9,前10
				課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	3	前8,前9,前 10,後7,後 8,後9,後 10,後11,後
						12,後13,後  14

				グループワーク、「 合理的な思考方法」 の発想法、計画立動	フークショップ等 としてブレインス 案手法など任意の	による課題解決への トーミングやKJ法、 方法を用いることが	論理的・ PCM法等 できる。	3	前8,前9,前 10,後7,後 8,後9,後 10,後11,後 12,後13,後 14
				どのような過程で約 。	<b>詰論を導いたか思</b>	考の過程を他者に説	明できる	3	前8,前9,前 10,後7,後 8,後9,後 10,後11,後 12,後13,後 14
				適切な範囲やレベル	レで解決策を提案	できる。		3	前8,前9,前 10,後7,後 8,後9,後 10,後11,後 12,後13,後 14
				事実をもとに論理り	3	前8,前9,前 10,後7,後 8,後9,後 10,後11,後 12,後13,後 14			
				結論への過程の論理 る。	里性を言葉、文章	、図表などを用いて	表現でき	3	前8,前9,前 10,後7,後 8,後9,後 10,後11,後 12,後13,後 14
				目標の実現に向ける	て計画ができる。			3	前7,前8,前 9,前10
				 目標の実現に向け <sup>-</sup>	 て自らを律して行	 動できる。		3	前7,前8,前
				日常の生活における	ができる	3	9,前10		
	能应 十六			· /		9,前10 ′ 前7,前8,前			
	態度・志向 性(人間力)		態度・志向 性	チームで協調・共同	3	9,前10			
				チームで協調・共同者の意見を尊重する。	3	前7,前8,前 9,前10			
				当事者意識をもっる。	3	前7,前8,前 9,前10			
				チームのメンバー。	としての役割を把	握した行動ができる	0	3	前7,前8,前9,前10
評価割合									
	試験	発	表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	t
総合評価割合	総合評価割合 0		0	0	0	20	0	100	)
基礎的能力	0	80	0	0	0	20	0	100	)
専門的能力	0	0		0	0	0	0	0	
分野横断的能	カー0	0		0	0	lo	0	0	